

(様式3-1) 研究研修活動記録票(研究会、研修会開催又は参加に要する経費)

No.1

嬉野市議会議員

水山 洋輔

| | | | |
|------------|---|----------|-----------|
| 開催月日 | 令和7年7月2日(水)～7月4日(金) | | |
| 開催時間 | 2日 10:00～16:00 3日 10:00～16:30 4日 10:00～12:00 | | |
| 開催場所 | 東京ビッグサイト | | |
| 主催者 | 自治体・公共Week実行委員会 | | |
| 研修会等の名称 | 自治体・公共Week2025 | | |
| 講師等の氏名等 | ①デジタル大臣/平将明氏、②内閣府大臣官房審議官/河合宏一氏、③総務省行政経営支援室長兼地域DX推進室長/君塚明宏氏、鹿児島県瀬戸内町DX推進室長/中島淳弥氏、三重県明和町まちづくり戦略課/吉村直也氏、(一財)全国地域情報化推進協会企画担当部長/吉本明平氏、④(株)アネビー開発部部長/横山諭氏 | | |
| ^ | 7月2日 ①10時～10時45分 | | |
| | 【講義】 日本のDX推進政策 | | |
| | 7月2日 ②12時30分～13時15分 | | |
| | 【講義】 未来を守る地域防災政府方針 | | |
| | 7月3日 ③15時30分～16時30分 | | |
| | 【講義】 フロントヤード改革最前線 | | |
| | 7月4日 ④11時～11時30分 | | |
| | 【講義】 地位の課題を解決する遊び場づくりの成功事例 | | |
| 上記活動に要した経費 | 経 費 の 内 容 | 支 払 先 | 金 額 (円) |
| | 会場費 | | |
| | 講師謝礼 | | |
| | 出席者負担金 | | |
| | 旅費 | | |
| | 旅費 | 全日本空輸(株) | 49,920 |
| | 宿泊費 | サンホテル船橋 | 24,900 |
| | 合 計 | | 74,820 |

(様式3-1) 研究研修活動記録票(研究会、研修会開催又は参加に要する経費)

No.1

嬉野市議会議員

水山 洋輔

| | | | | |
|---------|---|-----------|-------|-----------|
| 開催月日 | 令和7年7月2日(水) | | | |
| 開催時間 | 10時～10時45分 | | | |
| 開催場所 | 東京ビッグサイト | | | |
| 主催者 | 自治体・公共Week実行委員会 | | | |
| 研修会等の名称 | 自治体・公共Week2025 | | | |
| 講師等の氏名等 | デジタル大臣/平将明氏 | | | |
| 内容・結果等 | 【講義】 日本のDX推進政策 | | | |
| | 【内容】 デジタル庁は、令和3年9月の発足から今年で4年目を迎える。 | | | |
| | 発足当時は、新型コロナウイルスが流行しており、国としてビックデータの活用体制ができておらず、マイナンバーカードの普及と保健証の紐づけを行ってきた。デジタルはある程度の標準化をするために、クラウドやマイナンバーカードの普及に努め、国民一人ひとりに迅速な政策を提供できる体制づくりを行っている。デジタルやAIの進歩によりサイバーセキュリティの重要性が高まっており自治体においても同様。現在データ利活用や個人情報保護など、AIと個人情報のバランスを考える時期であり、来年の通常国会に「データ利活用の法律」を提出予定。 | | | |
| | AIには電力とデータセンターが必要なため、「ワット・ビットの連携」を一体的に行う。 | | | |
| | 【まとめ・感想】 デジタルや生成AIの進歩によりこれまで時間がかかっていた行政や民間の業務について、作業の効率化が図られている。デジタルにより利便性が高まる一方で、使い方に慣れていない、使えないなどの、デジタルプアへの対応としてデジタルとアナログをミックスし、より効率よく効果的な施策と国民情報を保護するための早急な法整備に期待したい。 | | | |
| | 上記活動に要した経費 | 経 費 の 内 容 | 支 払 先 | 金 額 (円) |
| | | 会場費 | | |
| | | 講師謝礼 | | |
| | | 出席者負担金 | | |
| | | 旅費 | | |
| 旅費 | | | | |
| 宿泊費 | | | | |
| 合 計 | | | 0 | |

(様式3-1) 研究研修活動記録票(研究会、研修会開催又は参加に要する経費)

No.1

嬉野市議会議員

水山 洋輔

| | | | |
|--|--|-------|-----------|
| 開催月日 | 令和7年7月2日(水) | | |
| 開催時間 | 12時30分～13時15分 | | |
| 開催場所 | 東京ビッグサイト | | |
| 主催者 | 自治体・公共Week実行委員会 | | |
| 研修会等の名称 | 自治体・公共Week2025 | | |
| 講師等の氏名等 | 内閣府大臣官房審議官/河合宏一氏 | | |
| 内容・結果等 | 【講義】 未来を守る地域防災政府方針 | | |
| | 【内容】 1. 最近の防災体制の強化の取り組み(防災法の改正等)について | | |
| | 令和6年能登半島地震の教訓を踏まえ、①国による災害支援の強化、②被災者支援の充実 | | |
| | ③インフラ復旧・復興の迅速化、の3分野において災害対策基本法等の法律を改正。 | | |
| | 2. 防災庁の設置に向けて 令和8年度の設置に向けて防災監を創設するとともに地域防災強化 | | |
| | 担当を創設。防災庁の必要性、目的・役割について、災害の頻発化、激甚化、社会情勢の変化 | | |
| | など課題がある中で、防災に関する基本的な政策・戦略の立案、平時における事前防災の推進、 | | |
| | 災害発生から復旧・復興までの対応の司令塔の役割を担う。3. 自治体における災害対応力強化 | | |
| | について 防災スペシャリスト養成研修や避難生活支援リーダー等の研修について | | |
| | 【まとめ・感想】 風水害や大地震等による災害が頻発化、激甚化するなかで、平時の備えや | | |
| 体制づくりをすることで、災害発生時に迅速に対応できるよう官民連携した取り組みや、法律の | | | |
| 改正など様々な課題があることを改めて学ぶことができた。また、防災デジタルプラットフォーム | | | |
| の取り組みなどを知ることができ有意義な研修となった。 | | | |
| 上記活動に要した経費 | 経 費 の 内 容 | 支 払 先 | 金 額 (円) |
| | 会場費 | | |
| | 講師謝礼 | | |
| | 出席者負担金 | | |
| | 旅費 | | |
| | 旅費 | | |
| | 宿泊費 | | |
| | 合 計 | | 0 |

(様式3-1) 研究研修活動記録票(研究会、研修会開催又は参加に要する経費)

No.1

嬉野市議会議員

水山 洋輔

| | | | |
|---------|---|-----------|-------|
| 開催月日 | 令和7年7月3日(木) | | |
| 開催時間 | 15時30分～16時30分 | | |
| 開催場所 | 東京ビッグサイト | | |
| 主催者 | 自治体・公共Week実行委員会 | | |
| 研修会等の名称 | 自治体・公共Week2025 | | |
| 講師等の氏名等 | 総務省行政経営支援室長兼地域DX推進室長/君塚明宏氏、鹿児島県瀬戸内町DX推進室長/中島淳弥氏、三重県明和町まちづくり戦略課/吉村直也氏、(一財)全国地域情報化推進協会企画担当部長/吉本明平氏 | | |
| 内容・結果等 | 【講義】 フロントヤード改革最前線 | | |
| | 【内容】 自治体フロントヤード改革のねらいについて、経済財政運営と改革の基本方針2025とデジタル社会の実現に向けた重点計画を、令和7年6月に閣議決定。 | | |
| | 書かない窓口などのオンライン申請に関するフロントヤードと基幹情報システムの統一・標準化によるバックヤード改革に取り組み、住民の利便性向上と自治体の業務効率化を図る。 | | |
| | 2025年度中にモデル構築等を行い、システムやツールの共同調達・共同利用の取り組みを進める。 | | |
| | 前年度にフロントヤード改革に取り組まれた、瀬戸内町と明和町の実例をパネルディスカッション形式で聴講。 | | |
| | 【まとめ・感想】 本市においても、令和7年度の事業として国からの採択を受けており、フロントヤードの構築は、市民の利便性を高め職員がより一層住民サービスの向上のために努めるためにも重要な事業である。先進地の事例を踏まえ、より効果的でわかりやすい仕組みづくりに期待する。 | | |
| | 本市の取り組みは、同規模自治体のモデルケースとして横展開も期待されているため、新庁舎と塩田庁舎の利活用にも注視して調査研究を続けていきたい。 | | |
| | | | |
| | | | |
| | 上記活動に要した経費 | 経 費 の 内 容 | 支 払 先 |
| 会場費 | | | |
| 講師謝礼 | | | |
| 出席者負担金 | | | |
| 旅費 | | | |
| 旅費 | | | |
| 宿泊費 | | | |
| 合 計 | | | 0 |

(様式3-1) 研究研修活動記録票(研究会、研修会開催又は参加に要する経費)

No.1

嬉野市議会議員

水山 洋輔

| | | | |
|------------|---|-------|-----------|
| 開催月日 | 令和7年7月4日(金) | | |
| 開催時間 | 11時～11時30分 | | |
| 開催場所 | 東京ビッグサイト | | |
| 主催者 | 自治体・公共Week実行委員会 | | |
| 研修会等の名称 | 自治体・公共Week2025 | | |
| 講師等の氏名等 | (株)アネビー開発部部長/横山諭氏 | | |
| 内容・結果等 | 【講義】 地位の課題を解決する遊び場づくりの成功事例 | | |
| | 【内容】 (株)アネビーは、遊具、保育用備品等の企画・設計・施工業務を行われていおり、 | | |
| | 主な販売先として、保育園、幼稚園、認定こども園、自治体、一般企業などがある。 | | |
| | 近年は、熱中症やゲリラ豪雨また不審者対策など子どもが外で遊びづらくなってきている。 | | |
| | 屋内(インドアプレイルーム)の導入が進んでおり、子育て支援の新しいニーズがある。 | | |
| | インドアプレイルームの実例とし、図書館や子供の遊び場、託児所、ホールなどを融合した施設 | | |
| | 「ゆいの森あらかわ」や港区にある、0歳児から就学前の児童一時預かりや、屋内遊び場などの | | |
| | 利用ができる「あっぴい高輪」などの導入事例紹介。 | | |
| | 【まとめ・感想】 子育て環境を充実するための手法として、インドアプレイルーム(屋内遊び場)の | | |
| | 提供は参考になった。近年の夏は特に猛暑が多く、外で遊ぶことも危険なため、さらに需要が増えるのではと感じた。子どもの遊び場や一時預かり、子育てセンター、図書館、文化施設などの融合施設は、今後の塩田庁舎の利活用や周辺施設との利便性へ併用を考えると、参考にすることができた。引き続き調査・研究に努めたい。 | | |
| 上記活動に要した経費 | 経 費 の 内 容 | 支 払 先 | 金 額 (円) |
| | 会場費 | | |
| | 講師謝礼 | | |
| | 出席者負担金 | | |
| | 旅費 | | |
| | 旅費 | | |
| | 宿泊費 | | |
| | 合 計 | | 0 |